



Agilent InfinityLab バイオイナート LC ソリューション

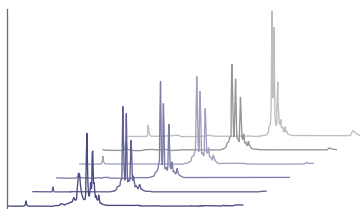
100 % バイオイナートによる 効率的な生体分子分析を実現



Agilent Technologies

アプリケーションに最適なバイオイナート LC ソリューションで ワークフロー効率を最大化

Agilent InfinityLab バイオイナート LC ソリューションは、バイオ分析の信頼性を高めます。腐食性のあるチタン送液システムとメタルフリーのサンプル流路が、すべてのアプリケーションにおいて生体分子の完全性を確保します。さらに、最新テクノロジーで高い運用効率をコンスタントに提供します。



揺るぎない 分析効率

Agilent Buffer Advisor による自動メソッド開発および容易な pH スカウティングは、最新のバイオカラムテクノロジーを統合してより高速なバイオ分析を実現します。



揺るぎない 機器効率

優れたサンプルロジスティックスと高いサンプル収容力により、多属性分析に対する適合性を含め、機器を最大限に活用することができます。



揺るぎない ラボ効率

100 % バイオイナートな流路により、メソッドおよび機器の堅牢性が高まり、稼働時間の増大、メンテナンスの低減を実現します。

ラボを総合的にサポートするソリューション

Agilent InfinityLab バイオイナート LC ソリューションは、優れた機器およびカラム、スマートな消耗品、直観的なソフトウェアおよびサービスで構成される包括的なソリューションです。



InfinityLab 機器、カラム、消耗品

Agilent InfinityLab バイオイナート LC ソリューションは、Agilent AdvanceBio カラム (InfinityLab 製品) と完璧に調和して動作し、きわめて優れた生体分離能力を発揮するように設計されています。Agilent InfinityLab バイオイナート消耗品はこのソリューションと組み合わせることにより、最適なパフォーマンスと最高の効率を生体分子分析で実現します。

Agilent CrossLab

サービスとサポート

Agilent CrossLab は、革新的なラボサービス、ラボ用ソフトウェア、消耗品の分野で業界をリードし、重要かつ実用的な付加価値を、経済的成果、運用上の成果、科学的成果へと導きます。

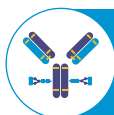
Agilent OpenLAB

ソフトウェアとインフォマティクス

Agilent OpenLAB ソフトウェアを介して制御されている InfinityLab LC シリーズ機器は、データの処理、確認、レポート作成に要する時間を短縮することによって、バイオ分析 LC ワークフローを最適化する取り組みをサポートします。

高度なバイオセパレーションに対応する フレキシブルなモジュール構成

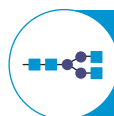
アジレントの LC システムは信頼性の高い分析を常年实现します。InfinityLab バイオイナート LC ソリューションは、信頼性のある堅牢な Agilent 1260 Infinity II LC システムで構成されています。また、新らしいバイオイナート消耗品を用いると、分析間でカラムを交換することなく、さまざまな特性解析を行うことができます。



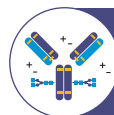
抗体価の測定と精製 (アフィニティ LC)
Agilent Bio-Monolith Protein A、Protein G



タンパク質の同定と不純物のプロファイリング (逆相 LC)
インタクトレベル: AdvanceBio RP-mAb (LC-DAD)、PLRP-S (LC-MS)
ペプチドレベル: AdvanceBio ペプチドマッピング



グリカン分析 (疎水性相互作用 LC)
AdvanceBio Glycan マッピングカラム



電荷変異体の分析 (イオン交換 LC)
Agilent Bio Mab、Agilent Bio IEX



凝集体分析 (サイズ排除 LC)
AdvanceBio SEC

精密なカラムハンドリング

バイオイナート熱交換器を搭載した Agilent 1260 Infinity II マルチカラムサーモスタット (MCT) を使用すると、広い温度範囲にわたって精密にカラム温度を制御できます。これにより、最高のアプリケーション柔軟性を得るための堅牢かつ信頼性の高い分離を実現しています。

流路の材質: PEEK

高度なカラム性能

Agilent AdvanceBio カラムを、インタクトおよびフラグメントモノクローナル抗体分析用に従来型および超高性能 LC システムで用いて、バイオ医薬品の発見、開発、QA/QC を進めることができます。

Agilent AdvanceBio カラムはさまざまなバイオ分析ワークフローにマッチします。

BIO
INERT

高感度の生体分子検出

Agilent 1260 Infinity II ダイオードアレイ検出器 WR は、最大 120 Hz で多波長およびフルスペクトルの検出が可能です。柔軟性がきわめて高く 190 ~ 950 nm という広い波長範囲を備えています。また、バイオイナートフローセルを含め 12 種類のフローセルから選択できます。

流路の材質: サファイア、PEEK、酸化ジルコニウム、FEP

柔軟な溶媒とカラムの選択

オプションの 1260 Infinity II MCT 用 InfinityLab バイオイナートクイックチェンジバルブを用いると分析性能が向上します。サンプル濃縮やクリーンアップでは、新しいバイオイナート 4 カラムセレクトバルブを用いて、カラム再生、メソッド開発、多属性分析を自動化できます。

流路の材質: PEEK、セラミック

効率的なサンプルハンドリング

柔軟性が高くキャリーオーバーがきわめて低い Agilent 1260 Infinity II バイオイナートマルチサンブラは、メタルフリーサンプル流路を特長とし、あらゆる生体関連アプリケーションに最適なインジェクタです。

サンプル導入の上流側の流路の材質: チタン、金、PTFE、PEEK、セラミック

サンプル導入の下流側の流路の材質: PEEK、セラミック

堅牢な溶媒送液

腐食耐性のある Agilent 1260 Infinity II バイオイナートポンプは、生体アプリケーションや極端な pH アプリケーションに適しており、高塩濃度耐性および広い pH 範囲を備えています。

流路の材質: チタン、金、プラチナ-イリジウム、サファイア、PEEK、PTFE、ルビー、セラミック、FEP、PFA

包括的なバイオ医薬品分析

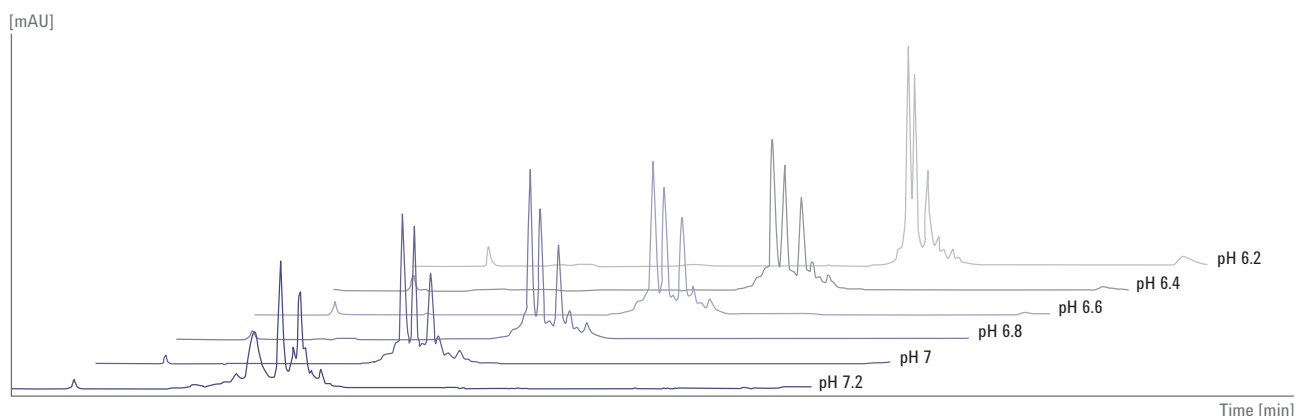
モノクローナル抗体 (mAb) の特性解析では、重要品質特性の分析が不可欠です。このような特性解析によく使用される一般的なメソッドには次のものがあります。凝集体分析用のサイズ排除クロマトグラフィー (SEC)、酸性および塩基性アイソフォームを同定するためのイオン交換クロマトグラフィー (IEX)、一次構造解析用のペプチドマッピングです。アジレントは、これらのワークフローをシンプルかつ高速化するための機器、カラム、ツールを開発しています。

電荷変異体の分析



Agilent Buffer Advisor ソフトウェアは、バッファ前処理、バッファ混合、pH スカウティングといった面倒でエラーの生じやすいメソッド開発手順を排除します。また、塩グラジエントおよび pH グラジエントを作成する迅速で容易な方法を提供します。Buffer Advisor ソフトウェアは、Agilent 1260 Infinity II バイオイナートポンプの混合原理を活用して、4 種類の原液から溶媒を自動調整します。このようにして、バイオ分析のワークフローの簡略化、バッファ調製時間の大幅な短縮を実現できます。

www.agilent.com/chem/jp から日本語の技術資料 (5991-7442JAJP) をダウンロードできます。



Buffer Advisor ソフトウェアで計算した、動的に混合される 4 成分グラジエントを用いて、pH スカウティングのワークフローを短縮し、簡略化することができました。

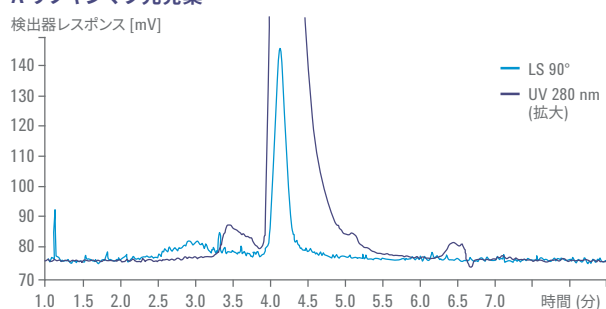
凝集体分析



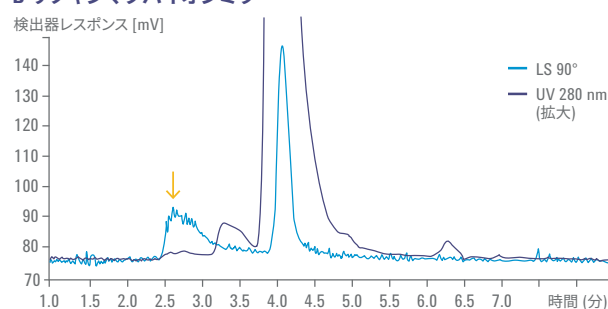
高度な光散乱 (LS) 検出を使用すれば、凝集体や潜在的分解物の測定や定量における SEC の性能が大幅に高まります。Agilent 1260 Infinity II マルチ検出器 Bio-SEC ソリューションと AdvanceBio SEC カラムは、高度な情報を得るための使いやすく最適化されたソリューションです。

www.agilent.com/chem/jp から日本語の技術資料 (5991-7476JAJP) をダウンロードできます。

A リツキシマブ先発薬

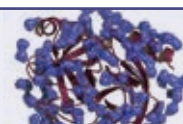


B リツキシマブバイオシミラー



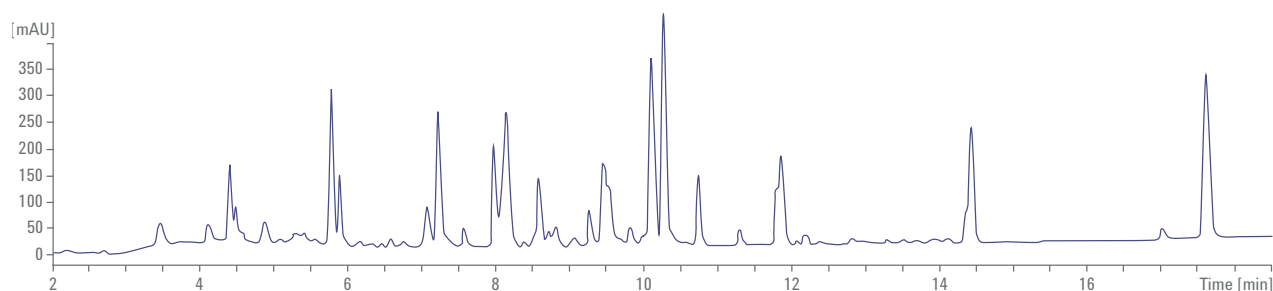
150 mM リン酸ナトリウム、pH 7.0 でのリツキシマブ先発薬 (A) とリツキシマブバイオシミラー (B) の LS 分析の比較。光散乱検出がより高次の凝集体により大きく反応することが立証されました。

ペプチドマッピング



ペプチドマッピングは、タンパク質医薬品を同定し確認するために使用されています。全多孔質 HPLC カラムを使用した従来のペプチドマッピングでは完了までに 60 分以上かかることがあります。Agilent AdvanceBio ペプチドマッピングカラムを使用すると、タンパク質の一次構造のアミノ酸の修飾を迅速に分離し、同定することができます。

www.agilent.com/chem/jp から日本語の技術資料 (5990-6192JAJP) をダウンロードできます。



AdvanceBio ペプチドマッピングカラム、3.0 mm x 150 mm、2.7 μ m を流量 0.6 mL/min で使用した P128 消化物の分析。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017

Printed in Japan, March 15, 2017

5991-7361JAJP



Agilent Technologies